総社市立秦小学校 **学校だより**
令和５年度　第３５号
１月１０日（水）

☆　１月の品格の話「礼儀」です　☆

始業式の日に合わせて品格「礼儀」の話をしました。礼儀とは、世界中の人々が持っているお互いを尊敬するマナーや行動です。『当たり前のことがきちんとできていること』が礼儀正しいと評されます。しかし、私たちは時に礼儀正しくできなくなることもあります。身の危険を感じたり、腹が立ち、悲しいことに直面したり。時には自分勝手な行いをしてしまって後悔したりもします。いつでも、どんな時にでも礼儀正しくいられるかどうか人としての品格が問われます。

子どもたちには外国のニュース番組で報道された3枚の写真を紹介しました。１枚目は東北大震災の直後に被災した方々が生活物資を受け取るために、整然と静かに並んでいる様子です。今年の元日、温かくて穏やかな新年が始まったと思うも間もなく、その日の午後には能登地方で大きな地震が起きてしまいました。発生から１週間以上たっても行方の分からないままの方々がいること、多くの人が住んでいた家をなくし、避難所で不便な生活を強いられていることなどにも触れて話を続けました。そんな過酷な状況の中でも人々はマナーを守って生活されていることに心から感銘いたします。

２枚目の写真は、去年のワールドカップ、サッカー日本代表チームをスタジアムで応援するサポーターたちが試合観戦後の会場を掃除している様子です。心の底から盛り上がった場所で落ちているごみを一つ一つ丁寧に集めて回る彼らの姿は世界中の報道関係者からも称賛されました。

３枚目の写真は、同じサッカー会場内の選手ロッカールームを日本チームが使った後の様子です。大切な試合で負けてしまった失意の中でも、見事なまでにこの部屋をピカピカにし、机には、折り鶴と『ありがとう。Thank you for～』というメッセージを添えて恩返しをしています。

どんな状況下でも、決して『礼儀』を忘れることのない尊い姿を世界中の人たちも認めてくださっています。私たちが大切にしてきたことは、いざという時の力につながっていると確信します。　(写真は HP:THE ANSWER からの転載)